

石川県立金沢泉丘高等学校通信制課程 令和8年度シラバス

教 科	科 目	単位数	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	レポート通数
芸術	美術Ⅰ	2	原則2年次	選択必修	通年	1 2	8	6
評価の観点の趣旨	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・制作の意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現している。		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。			主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。		

期	レポート回	題材	学習の内容	評価方法			スクーリング回
				知・技	思・判・表	主体的	
前期	第1回 第2回	鉛筆デッサン	「目の細密画」 対象を深く観察し、鉛筆を描画材にして、形体、明暗、質感などを細密に表す。	レポート	レポート	レポート	第1・2回
	第3回 第4回	色鉛筆画 (下絵、着彩)	「静物着彩画」 身近な草花などの自然物を観察し、色鉛筆を描画材にして、形体、構造、色彩などを捉え、描画材の特性を生かして表す。	レポート	レポート	レポート	第3・4回
	第5回 第6回	タイポグラフィ	「漢字の感字」 漢字をもとにして、その意味や特徴を考え、視覚伝達の効果を生かし、目的や意図にもとづいて表す。	レポート	レポート	レポート	第5・6回
後期	第7回 第8回	パターン・デザイン (基礎、応用)	「ライン・テクスチャー」 線の種類や構成などの効果を活かし、目的や条件、機能などを考え、見通しをもって創造的に表す。	レポート	レポート	レポート	第7・8回
	第9回 第10回	トリック・アート	「ホロウ・フェイス」 凹面に描くことで生ずる視覚的な錯視の効果を活かし、描き方や色彩を工夫して不思議な自画像を表す。	レポート	レポート	レポート	第9・10回
	第11回 第12回	具象彫刻 (石粉粘土)	「動物塑像」 粘土の特徴を生かしながら生き物の持つ生命感やたたずまいを構造感や量感などを手掛かりに工夫して塑像で表す。	レポート	レポート	レポート	第11・12回

使用教科書等	・教科書：「高校生の美術1」（日本文教出版）　・学習書：「高校生の美術1」（NHK出版）
放送視聴	・NHK高校講座「芸術（美術Ⅰ）」　スクーリング4回分（20分番組×3で1回分）まで免除可能。 時間帯は「年間計画表」で確認すること。